

『ねえ 聞いて欲しいんだ 今
誰にも言えなかった ずっと 心に秘めていた 僕の夢物語
遠くばかり 眺めたまま 踏み出すこと 出来ずに
見たことない 海と空へ きっといつの日にか・・・
やっと出会った 本当の 宝物！
手と手 繋いで 風を集めて 帆を上げる 今 旅立とう！
君がくれた 優しい強さ・・・ 世界を変える
始まるよ 未来へ さあ 行こう！
そう めぐり会えた 奇跡を 運命は 不思議だね
こうして並び 笑い合って 朝陽を 待っている・・・
一緒に 歩いて行くよ だから もう！
手と手 離すな！ 雨に打たれて 声 合わせ 空へ叫ぶよ
教えてくれた 信じる強さ・・・ ありのままに 生きてゆくん
“どんなに深い暗闇だとしても 明けない夜など 絶対 ありはしない
どこまでも どんな時でも・・・”
君に 想いよ 届け！ 手と手 合わせて 星に 願うよ
【TETOTE】 作詞・作曲：北川 悠仁（ゆず）』

この歌詞は、市川猿之助さんという歌舞伎役者が 漫画『ワンピース』を題材に創作した スーパー歌舞伎Ⅱの公演の テーマソングとして、友達の 北川悠仁さんが書き下ろしたものです。主人公 ルフィと その仲間達との 出会い、心の絆、想いを表していて お芝居の中のクライマックスの場面では ステージと客席が一体となり、この歌で ルフィーの挑戦の旅立ちを 皆が応援しながら 感動的に盛り上がりますがこの曲を聞いた時、瞬間的に つのぶえ保育園の子ども達の笑顔が 浮かんできました。

さて、先月の「花の日こどもの日礼拝」の翌日9日(土)、皆様のご協力とご理解を頂きまして つのぶえ保育園の卒園生による“同窓会”を開催することができました。これは本来、小学1年生の子ども達のみを対象に 集まっていたものだったのですが、「来年も来たい！」翌年になると「また来年も いい？」と、子ども達の希望によりいつの頃からか6年生までを招くようになり 毎回 賑やかです。時には どこからか情報を得た 中学生や高校生、それ以上の 大学生や社会人になった 子ども達までがひょっこり顔を見せに来てくれることもあって、退職したスタッフ達との再会も併せ、まるでタイムマシーンに乗ったように 時が戻り、この日は つのぶえ保育園にとって、懐かしさに溢れる喜びと それぞれの成長の姿に感動する大切な機会になっています。久しぶりにやってくる子ども達は皆、ちょっぴり緊張して すまし顔で挨拶しながら受付で名前を書き 部屋へ上がっていきますが、当時の仲間たちと 顔を合わせた途端、一気に時を超え、照れながらも 満面の笑顔で はしゃいだり 夢中で話し始めたり・・・、それぞれに昔と全く変わらない様子を垣間見ることができて 微笑ましいひと時です。そんな子ども達を迎える 私達も、この日をワクワクしながら 心待ちにしていますが、毎年毎年、この嬉しく、でもほんのささやかな時間を、子ども達と一緒に どんな風に過ごしたらいいだろうかと 悩み考えます。映画・キャンプファイアー・ゲーム・花火、クッキング・バーベキュー・バイキング、或いは テーマを掲げての真剣な話し合いなどなど、その時その時の 社会問題や流れも 背景にしながら、様々なプログラムを私達なりに一生懸命 考え合い、企画して行ってきました。

けれども それらを通して愛する教え子ひとりひとりの心に伝えてきたこと そしてこれからも伝え続けたいことは ずっと変わりません。

それは “ここは あなた達にとっての 永遠の 心のふるさと、人生の 原点だよ。”
そしてもうひとつは “あなた達は 決して ひとりじゃないよ。どんなことがあっても
どんな時でも、神様は あなた達のことを見ていてくれる。そのことを 私達は
いつも ここから祈っているからね。” ということです。

今年の同窓会も、この日を楽しみに足を運んでくれる子ども達のために 何を
準備したらよいだろうと 皆の顔を思い浮かべながら 先生達と話し合ってきました。
保育園を卒園してからの学校生活の中で、“信じる” ことに心がくじけそうになって
つまずいてしまっている子ども達が多いことを耳にしたり、自分に自信を失くして
うつむいてしまっている姿を目の当たりにしたり・・・ピカピカだった小学校への
憧れが 少しずつ異なっていく現実とのギャップに戸惑っているひとりひとりの心へ
保育園時代の純粋な眼差しを振り返り、自分をあきらめず 日々の元気になるような
願いを含めたメッセージを贈ることのできる 明るいひと時を過したいと思いました。
そんな中で思い浮かんできたのが この冒頭の『TETOTE(手と手)』の歌詞でした。
これを 皆で唄おう！ そして それぞれの場に戻った後も ふと ローズさんでくれる位
唄えることができたらいいなと思いました。つのぶえを通して 出会いを与えられた
仲間としての お互いの絆は ここにあること・・・この歌詞は 私達の子供達への
祈りそのものだと思えたからです。先生達に話すと、大きく頷いてにっこり！大賛成
してくれました。小園江先生は、お芝居を観て この曲の大ファンになり、一昨年の
プレイデーで、年長組の子ども達と オリジナルのふりを考えて ダンスを踊りました。
2年生は もしかしたら懐かしく思い出してくれるかな？…そんなことを思いながら
当日を迎えました。前日に、在園児達が持ち寄った 色とりどりの美しいお花たちが
いっぱい部屋の、かつて自分達も 心温まるひと時を過ごした「花の日礼拝」を
微かに思い出しながら、まず 自己紹介と近況報告、そして 持参した、卒園式の時に
大喜びで手にしていた記念の聖書を開き、久しぶりに全体礼拝をしました。卒園以来、
ずっとしまっばなしで 毎年 同窓会の時にだけ ページを開くよという子もいれば、
お家で 時々 暗唱聖句を思い出して探しながら読んでいるという子もいましたが、皆
聖書の言葉やお話に 一生懸命 耳を傾けていました。当時 お気に入りだった讃美歌、
聖句や主の祈りも 変わらず共に心を合わせて献げることができたことも感謝でした。
この時、誰よりも大きな声で 張り切っていたのは、つい3か月前まで保育園にいた
1年生達で、元気いっぱいリードしていました。今年最後の6年生も 半分以上の
参加があり、忙しい中、後から 駆けつけてくれたメンバー達もいて 感激しました。
そして、この曲を紹介しました。いろいろな説明を付け加えなくても伝わるだろうと
一緒に歌いたいことを話すと、最初は 何とな〜く もそもそしていた様子でしたが
リズムカルで明るいメロディに ノリノリになって拳を振りながら歌う子もいました。
今年は 50人以上の子ども達と先生達で、ホールはぎゅうぎゅう！ とても賑やかな
同窓会でしたが、どんなに大きくなっても 心根は幼い頃のままだ、まったく変わらない
あどけない子ども達の笑顔に 心がとても温かくなり、元気をたくさん もらいました。
皆が集まる前、先生達が必死で作った特製の海苔巻きや スープ、フルーツポンチを
お腹いっぱい食べながら、しばらくの間 それぞれのクラスに分かれて 担任の先生や
仲間達とお喋りをした後は、いつの間にか 真っ暗になった園庭に 出て行き、最後
にお泊り会の時と同じようなプチ花火大会で 盛り上がりました。

「せんせ、【TETOTE】覚えたよ!」「いい歌だね!」「もっと 皆で歌いたかった」
いろいろな感想を残してくれた子ども達です。「なんかさ、園長先生らしい歌だね」
「うん! 私もそう思った〜!」と通りすがりに笑いながら言った女の子達がいました。
「そうか〜 私らしいか・・・」そう感じてくれたことが、何となく嬉しかったです。
そして、また来年の再会を約束し、最後のお祈りをした時の ひとりひとりの顔には
最初の礼拝の時には無かった安らぎを感じ、私自身の心にも何とも言えない安堵感を
覚えました。さようならをしてからも 保育園を去りがたい想いが溢れ、いつまでも
暗い園庭の中を走り回る子ども達が 大勢いました。今回で 最後のはずの 6年生が
「来年も来るよ! ずっと永遠に来るから!」少し声変りをした声で満面の笑顔を見せ
手を振りながら 帰って行きました。「せんせい、今日はありがとうございました!」
と深々とお辞儀しながら こちらが恐縮するほど 丁寧な挨拶をしに わざわざ戻って
来た男の子や 「いつまでも すーっと! 園長先生のお仕事 がんばってね!」と
私の肩をたたいて 励ましをくれた女の子達、みんなみんな かけがえのない宝物です。
お迎えに来てくださった保護者の方々と 久しぶりの懐かしい再会が 出来ることも
同窓会の 大きな幸せです。最近の様子や 当時の昔話など ごちゃ混ぜになりながら
お話していると、改めて 皆さんに育てて頂いた自分自身を実感し 思わず涙する時も
あります。神様から与えられたこの絆を 大切にしていきたいと 心新たに誓いました。
「ワンピース」のお芝居の中でルフィが皆に向かって元気に言い切る台詞があります。
「出会いは みんな たまたま。たまたま 出会ったら それが仲間だ!」

私達も、この つのぶえ保育園を通して “たまたま” 出会った 関係です。けれども
神様は 言われています。“人間にとっての偶然は、神にとっての必然である。”と。
それぞれの人生において 得た 出会いは すべて、神様の計らいに よるものなのです。
“たまたま” 出会った ひとりひとりとの出会いが、こんな風に いつまでも祝福され
繋がっていられることに 心から感謝したいと思っています。つのぶえの子ども達は
卒園しても 遠く離れ離れになっても 大人になっても ずっと、この出会いを大事に
お互いの心を信じ合い 心の “手と手” を 繋ぎ合い 想い合い 祈り合うことができる
ことを これからも 同窓会の度に 感じ合い 伝えていきたいと心から 願っています。

『大好きな 元★ つのぶえ保育園の みんなへ

きょうは 同窓会に来てくれて どうもありがとう!

久しぶりに みんなに会えて とてもうれしかったです。

きょう いっしょに歌った“TETOTE”は 私からの みんなに贈るメッセージです。

みんなは、このつのぶえで “出会った 本当の 宝物” です。

“めぐり会えた奇跡”を どうか 大切にしていね。つのぶえで 過ごした毎日の中で
それぞれの心に “信じる強さ” “優しい強さ” を 互いに 育て合いました。

いつも、ここで、みんなは “手と手をつないで” 仲間を想い合って すごしました。

そのことを 忘れないでね。そして、どんなことがあっても 信じてください。

“どんなに 深い暗闇だとしても、明けない夜は 絶対に ない” ということを。

これからも私 は、このつのぶえから みんなのことを想い、“手と手を合わせて”
願い 祈り続けています。神様の祝福と お守りが いつも ありますように!

自分の 心と身体を どうか 大切にしてくださいね。』

今年 参加してくれた子ども達へ 手渡したメッセージです。今も 広い社会で懸命に
生きているすべての卒園生達 そして 在園児達に 神様の平安を祈ります。(石田 記)

「私の子ども達が 真理に歩んでいることを 聞くことほど 私にとって 大きな喜びは ありません。(ヨハネⅢ 4)」